令和５年度
スクール・エンパワーメント推進事業

テーマ：言葉を大切に、自分の思いを伝え合う力を育てる

国語の授業づくりモデル小学校
門真市立四宮小学校

つけたい力

自分の思いを伝え合う力

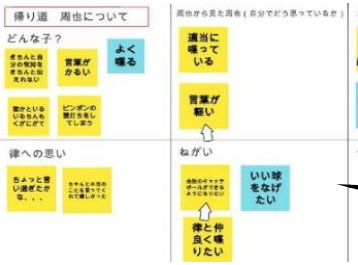
取組みの概要・ポイント

「自分の思いを伝え合う力」を育てるために、国語の物語文で話し合う場面を研究授業とし、「伝え合う力」を活用する研究に取り組む。授業の交流の場でICTを活用して伝え合いたくなる工夫をしたり、「伝え合う力」を他教科で活用したりして研究を進めていく。

伝え合う力を活用する研究（１）
伝え合う力を活用するための交流の場でICTを活用

〇ICTで考えを視覚化し、伝え合う意欲を高める

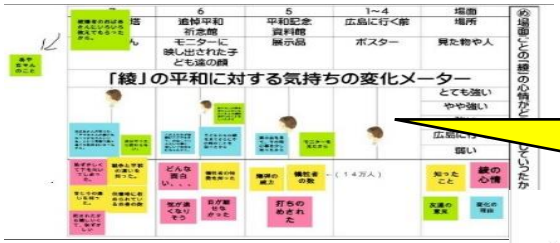
①人物像をわかりやすく観点ごとにふせんにまとめ、交流する（6年）



観点ごとに人物像をふせんにわかりやすくまとめる。

交流して、考えが増えたときは色を変えて、考えの広がりを視覚化する。

②心情の変化を視覚化し、交流する（5年）



変化をメーターで視覚化し、変化の理由をふせんでまとめ、話し合う。

③グループの話し合いでそれぞれの意見のふせんを見やすく整理（3年）

話し合いの中で、各自の考えを動かしながら、整理する。

伝え合う力を活用する研究（２）
伝え合う力を他教科への活用

〇他教科への活用表の作成

各学年でつけたい「伝え合う力」を具体的に考える→「聞き方のステップ」の中でどのレベルか考える

5年　1学期　聞く

「きいて、きいて、きいてみよう」

◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。（思・判・表 A(1)エ）

聞き方のステップ

レベル8 聞いたことに対して、自分の考えを持つ。

レベル9 自分の考えと相手の考えを比べて聞く。

↓

活用できる　教科・単元（2学期）

1学期の国語でつけた「伝え合う力」が2学期の他教科のどこで使えるか？を考える

道徳	「約束」の単元でよりよい人間関係をつくるために必要なことを話し合う。
総合	運動会や林間をよりよいものにするために、どうしたらよいかを話し合う。
算数	ソフトボール投げのライン引きについて、図形の性質と関連付けて話し合う。

↓

2学期　話し合う

「よりよい学校生活のために」

◎互いの立場や意図を明確にしながら 計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりすることができる。（思・判・表 A(1)オ）

↑他教科への活用表はこちら

教師も児童も「他教科とのつながり」を意識することが大事！
→さらに次の学期につなげていく

取組みを通しての子どもの変容

学期末アンケートでは、「自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して、伝え方を工夫している。」80.8%→82.5%「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしている」77.6%→80.8%と伝え合う力に関係している項目で上昇がみられた。他教科とのつながりを意識することで、国語以外の教科で活発に話し合う姿が見られた。ICTを積極的に授業で活用して、意欲的に話し合う姿が見られた。